

めざせ

介護職



介護のお仕事 はじめませんか

将来、人の役に立つ仕事に就きたいと考えている人、転職や再就職を考えている人など、介護業界で働いてみませんか。

介護の仕事を行う「介護職」は、高齢者の自立を支えるやりがいのある仕事で、年齢や経歴、資格の有無に関係なく、誰でもチャレンジできます。

今号では、介護現場で働く人々を取材しました。今後ますます必要とされる介護の仕事の魅力をお伝えします。

問合先：長寿介護課（☎674・7166）

介護の仕事

介護の仕事の使命は、加齢とともに心身の機能が低下し、介護が必要な状態になっても、介護サービスを受ける人（以下、利用者）が自分らしい生活を過ごせるよう生活条件を整え、支援することです。

仕事の内容は主に3つに分類されます。1つ目が身体介護。直接利用者の身体を支えて身の回りのお世話をします。お風呂での入浴介助やベ

ッドから車いすへの移乗介助、排泄介助、食事介助、更衣介助などがあります。

2つ目が生活援助。掃除、洗濯、調理など、利用者や家族ができないことを代行するなど、利用者の身体には触れないで支援します。

3つ目にその他の支援として、リハビリや余暇活動のためのレクリエーションを提供することや、メンタル面のケアなど、利用者の生活の質を向上するための支援があります。

主な介護サービスの種類

介護サービスには、主に次のような提供方法があり、介護職員は各サービスに応じて働きます。

自宅で生活

訪問介護
(ホームヘルプ)など



施設で生活

・特別養護
老人ホーム
・グループ
ホーム
など

施設に通う

通所介護
(デイサービス)
など

介護の仕事

5つの魅力

POINT 1 やりがいを実感

利用者の自立を促し生活を支援する中で、頼られることの多い仕事です。利用者のできるが増えたり、利用者や家族から「ありがとう」と感謝されたり。やりがいと喜びにあふれ、必要とされていることを実感できます。

POINT 2 学びから成長に

利用者は人生の大先輩。たくさんのお話を聞き、優しさやおおらかさ、時に厳しさなど、利用者の人柄に触れることが大切な学びとなっており、自分自身の成長につながります。



POINT 3 介護経験なくてもOK

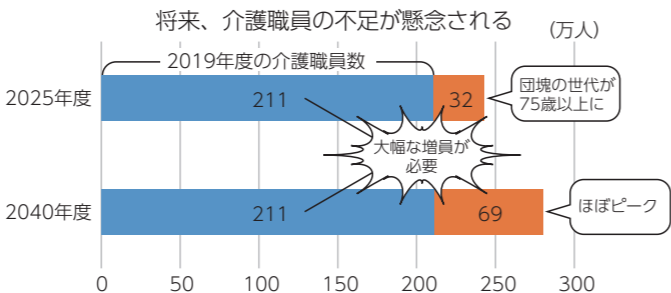
年齢・性別・経験に関係なく仕事が始めます※。資格を取ると、できる仕事が増え、給与も上がるなどキャリアアップが可能に。現在介護業界で働く人のうち、前職が「介護・福祉・医療関係以外の仕事」だった人は全体の半数程度で、多くの人が未経験から始めています。また働きながら資格を取得するための補助制度もあります。

※訪問介護は資格が必要です

POINT 4 安定した需要

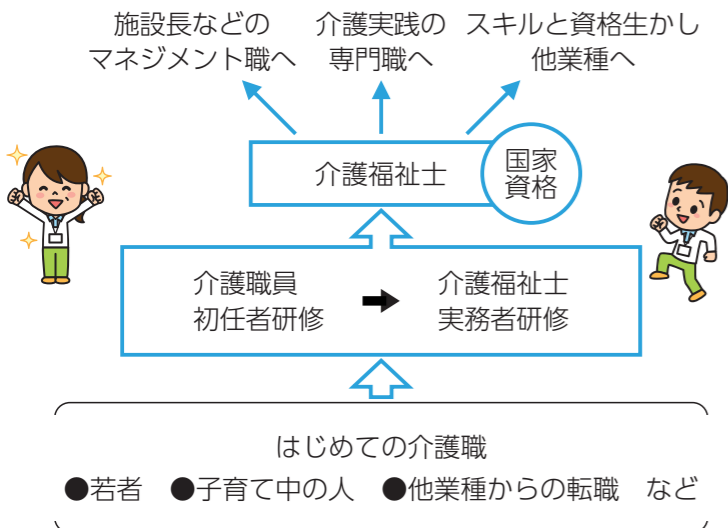
高齢者人口がほぼピークとなる2040年度には、全国で280万人の介護職員が必要と推計され、現在の211万人から69万人の増員が求められています※。以降も高齢化の進展に伴い社会的な必要性が高く、景気や社会の変動の影響を受けにくい業界なので、安定して長く働くことができます。

※厚生労働省「介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」令和3年7月



POINT 5 選べる働き方

さまざまな職場、サービスがあるため、働き方もそれぞれ。正社員としてフルタイムで働きたい、子育てと両立して働きたい、日中勤務がいい、夜勤もできるなど、希望やライフスタイルに合わせて働くこともできます。



CASE 2

宇野 優子さん

ヘルパーステーション愛仁会富田 介護職員



希望に寄り添うこと

34歳。高校卒業後から介護職に従事。病院、介護老人保健施設を経て現職に従事。1児の母。音楽が大好きで、今はKポップに夢中

**ホームヘルプの道へ
原点は祖父の介護**
利用者の自宅を訪問し、食事や移動の介助など、自宅での生活を援助するのが訪問介護、ホームヘルプの仕事です。
宇野さんがヘルパーの道へ進んだ原点は、小学生時代。当時鹿児島で一緒に暮らしていた祖父が、介護が必要に。宇野さんは「母が自宅で介護して苦労していた姿を見て、その大変さを間近で感じていた」と言います。
その後福祉を専門に学べる高校へ入学し、在学中にヘルパー1級と介護福祉士の資格を取得。卒業後に病院や入所施設での仕事を経験しました。
しかし「やっぱり自分の家で暮らし続けたいという利用者の望みを支え、それぞれの希望に最も寄り添うことのできるホームヘルプがしたい、ヘルパーとして自分のこれまでの知識や経験を生かしたい」と希望し、現在の職場に至りました。

家族の介護力アップ
「利用者と同居の家族がいる場合、家族の協力も欠かせません」と宇野さん。訪問介護の時間以外は、例えばおむつの交換や食事の介助など家族が介護をしなければなりません。
「初めての家族の介護は、どうしたらよいのか分からないういものです。私がいなくても介護がスムーズにいくよう家族にアドバイスしています。後日『教えてもらったことができただよ』と声をいただく、自分の学んできたことが役に立ったんだと、喜びを感じます」と宇野さん。祖父の介護に苦心していた母親の姿と重ねているのかもしれない。自宅で見取りを迎えた利用者の家族に「ヘルパーさんと一緒に自宅で介護することができて心強かった」という手紙をもらったことが、印象に残っていると言います。
**子育てと両立
働きやすい職場が後押し**
1歳になる長女を保育園に



事務所で報告書などを作成

預けながらホームヘルパーとして働く宇野さん。週に平日5回出勤で夜勤や残業はありません。「比較的働く時間に融通が利き、時短の範囲内で自分自身のペースに合わせて働くことができます。それに職場には、人生経験豊富な先輩が多く、子育てや仕事の悩みも相談に乗ってくれて助かっています」と話します。
「今後は今の資格を生かしながら、より専門的な資格である、ケアマネジャーや認知症の人の支援に関わる資格取得を目指したいです」。

CASE 1

城野 景都さん

グループホーム上牧の郷 介護職員



人生の最期を 色付いたものに

26歳。老人ホームで約3年間従事した後、外の世界を見たいと保険業界へ1年間転職。改めて介護職の魅力を感じ、現在復職して約1年。趣味はYouTube鑑賞と読書。休みの日は温泉や岩盤浴で過ごす

**共に過ごす
何気なく口調**
介護サービスを利用する高齢者（以下、利用者）の5〜9人がひと家族となつて生活するグループホーム。その生活を支える介護職員のサブリーダーが城野さんです。
柔らかく親しみやすい口調の城野さんは介護の仕事について、「何と言つても、利用者の皆さんとお話をしたり、畑仕事をしたりと、何気ない日常、を共に過ごすことに、喜び・楽しさを感じます」と話します。
介護の現場では、利用者の死を看取ることがあります。利用者の自立を支援していく一方、弱っていく姿を見ることは誰だつてつらいもの。それでも「人生の最期を楽しく幸せに過ごしてもらおうお手伝いをする、その方の人生に自分たちが関わることでの人らしい暮らし、色付いた暮らしにすることが私の仕事」と城野さん。利用者のご家族とも協力して、最期の時間を整えます。

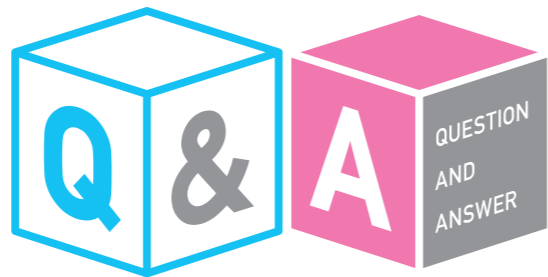
**思いの込められた
ありがとう**
ある利用者の看取り後、ご家族から「母は最期をあなたと過ごすことができ、本当に幸せだったと思います」と感謝の言葉をもらい、押さえきれず大号泣したこともありました。
「利用者や家族からの心からの『ありがとう』は、現場で働く職員にしか感じることでできない充実感、感動がある」と城野さん。「介護の仕事は、思いの込められた『ありがとう』をもらえる最高の仕事の1つだと思います」と言います。
**母と親友の病で決心
介護の道へ**
城野さんが介護の道を進むきっかけは高校生のとき。「進路に悩んでいる最中、母と親友が癌（がん）になりました。自分に必要な知識・スキルは介護だと直感しました」。元々人と関わる仕事に就きたいと考えていた城野さん。



利用者とふれあう城野さん

高校卒業後は、職業訓練校に通いながら実務者研修の資格を取得。その時に研修先で出会った施設長から就職の誘いを受けて今に至ります。
介護職の見本になる
城野さんは介護福祉士の資格を取るため、今年初めて受験を考えています。「介護職は自分の頑張り次第でステップアップできること、学びがあり成長できることなど、あまり知られていません。自分が成長して、介護職の見本になりたいと常々考えています」と城野さん。「あの人がいた介護職員になりたい、あそこで働きたいと思ってもらえるようになりたいです」。

ココが知りたい / 介護の仕事



答えてくれた人

市介護保険事業者協議会※
副会長
鈴木みどりさん

※介護サービス事業者が連携して、サービスの質の向上を図る団体（加入116法人）



介護の仕事ってどんなイメージを持ちますか。体力的・精神的に大変で、給料が安いなどでしょうか。そんな介護の仕事について知りたいことを聞いてみました。

Q 定年後に新しい仕事として介護職へ。どんな仕事ができる？

A デイサービスや介護施設の専門職員としてフルタイムで活躍している人もいます

働き方はその人の希望に合わせてさまざま。現役並みに働きたい人はフルタイムで、また少し抑えて専門資格のいない介護助手という働き方もあります。利用者を送迎する車両の運転手として活躍する人も多いです。

Q 子育てが一段落。資格は持っていないけれど介護に興味がある。家庭と両立できる？

A 介護施設やデイサービスなら資格がなくても大丈夫。日中の時間帯で仕事できます

ほとんどの方が未経験からのスタートです。これまでの子育てや家事の経験を生かして気軽に始めてください。勤務時間はご家庭の状況や希望に応じます。また資格を取得するための受講費を補助する法人もあり、子育て中の空き時間の1・2時間を活用しながら、ホームヘルパーとして働き始める人も多くいます。

Q 人の死を見たり聞いたり、精神的に負担が大きい？

A 人生の最期を共に過ごすのは貴重な時間。もちろん悲しさもありますが、高い充実感もあります

老人ホームなどの入居施設での高齢者の死に立ち会う「看取り」。つらい面もありますが、その人らしく最期まで大切に過ごした時間に対する充実感はいえがたいものです。看取りは医師や看護師、介護職など専門職と連携し、チームで対応します。ご安心ください。

Q 実のところ給料はどれくらいもらえる？

A 残業手当を除き月給20万円程度。夜勤で22~24万円が多いです

給料が少ないというイメージがありますが、国の制度改正も進み、介護職の給料は上がってきています。一般的な平均年収と比較しても、遜色ないぐらいの年収がもらえる時代になってきています。

介護職に興味のある人はご相談を

市介護保険事業者協議会（市社会福祉事業団内）
☎661・9108

※合同企業面接会inたかつき（本誌39ページ）にも参加しています。ぜひご利用ください

CASE 3

伊東 将志さん

デイハウスひなたぼっこ・楽笑 管理者



40歳。9年務めた建設現場から現在のデイサービスに転職し8年目。3年前から施設の管理者も務める。趣味は岩盤浴に夫婦で行くこと、サッカーを観戦すること

建設現場監督からデイサービスへ
住宅街の一角に、利用者の笑顔が絶えないデイサービス（以下、デイ）の施設があります。デイとは、介護サービスの一つで、日中に高齢者が施設に通い、日常生活の世話と機能訓練を受けながら過ごすサービスのこと。
その管理者である伊東さんは、建設業界から転職した経歴を持ちます。転職のきっかけは、当時市内の介護施設からリフォームの依頼があり、現在の社長と出会ったことです。伊東さんは「その時の縁があったので、建設会社を退職した後に社長に相談に乗ってもらい、介護の道に進むことができました」と話します。
「工事で訪れたデイのアットホームな雰囲気、笑顔あふれる空間に魅力を感じていたこと、また元々親の介護を見据えてヘルパー2級の資格を持っていたことも、後押しになりました」。



靴箱も伊東さんのDIYです

自分たちで企画・実行 楽しく笑顔に
「始めはとても不安」だったという伊東さん。全く違う職場に戸惑いもありました。でも「自分の孫のように利用者の皆さんが可愛がってくれました。僕自身おじいちゃん子だったので、懐かしい感じでした」とほほ笑みます。
持ち前の手先の器用さと優しい語り口が利用者やスタッフに大人気の伊東さん。前職のスキルを生かして、本棚や靴箱、遊び道具も自分で作ります。「大切にしていることは『利用者がかしたいこと』を叶えること。スタッフがそれを聞いてアイデアを出し合っただけが楽しく笑顔になる。上手くなったときは最高なんです」。

毎日勉強の積み重ね
「最近流行っているのは、『〇〇県に行ってみた』をテーマに、地方の料理やお菓子をみんなで作って食べたり、動画を見たり、玩具で遊んだり。利用者にも大好評なんです」。
利用者のデイ利用を支え、自立を支援するためには、さまざまな知識やスキル、経験が必要になります。伊東さんも介護の現場で実践を積みながら、介護福祉士の資格を取得。今ではデイの管理者になって施設の管理やスタッフの調整など、マネジメントも行う充実した日々を送っています。「毎日が勉強です。今は目の前のことを一つずつ、積み重ねています」。



手作りピンボールが大人気